

白石学習院小4限定スペシャルイベント

秋の トライアングル 勉強会

平成21年10月12日（祝・月）

於：県立総合体育館 地下1階 大会議室

まだまだ無邪気な面もある4年生。「こんな調子で大丈夫？」と心配される保護者のお声も聞かれます。でもご心配なく！個人差はあれ、子供たちは日々成長しています。でも、楽しく塾に通ってくれるだけではそろそろ満足できなくなるのが親心。来年度からは本格的な受験学習も始まりますし、色んなご不安もありません。

中学受験は「三位一体」で取り組むべきものという定説があります。白石学習院では日々の学習指導はもちろんのこと、子供を頂点にして底辺左右を保護者と塾が支える三角形のイメージで受験学習期間を支援してまいります。

さあ、この三角形（トライアングル）が綺麗な音色を響かせる日のために、そんな4年生の秋限定の特別企画『秋のトライアングル勉強会』が去る10月12日（祝・月）に、県立総合体育館大会議室で行われました。



保護者対象セミナー 『混沌とする進学情報を見極める』

『情報の氾濫。みなさんは何を信じますか？ マニュアル本はそこらにある。教育雑誌でも次から次へと新理論のオンパレード。確かにおもしろい、間違いなく参考になる。でもなにか専門的になりすぎて、視野を狭くしてしまいそうな気がしませんか？ 中学受験ってこんなに「親まで難しいの?」。学校教育者・教育事業者のみならず、子供の成長に関心がある大人であれば誰でも等しく「教育者」であると考えます。保護者の皆さま自身がお考えになる教育に、正解も不正解もありません。ただ少しでも氾濫する情報に迷わされることなく、そしてそれぞれのご家庭における「ブレない中心軸」をお持ちいただきたい。』

最近とくに気になるデータを例に進学情報を見極めると題した講演が行われました。



生徒会場 『科学の世界によろこそ』

●テキストで学ぶ前だからこそ、実物で科学実験！

『白石学習院では来年度小5からは本格的受験指導となり、理科（社会も）を履修していきます。ただし小学校で勉強するような基礎的レベルとは違い、中学入試に必要な理科は格段に深く、そして濃いものです。特に難関校であればあるほど高度な思考力を必要とする入試問題が頻出し、テキストを丸覚えするだけでは太刀打ちできないものもあります。だからこそ4年生のうちに理科への関心の度合を一気に高めておきたい、頭の柔らかいうちに入試レベルの科学を少しでも触れさせておきたいのです。』

テーマは「はじめての化学」。身近な物質をグループ分けする実験、酸性とアルカリ性というもの存在からはじまり、そこにはどんな性質があるか、どんな特徴があるかを学びました。また少し手を加えることで、物質が別の性質に変わる「化学変化」も体験してもらいました。理屈はともかく、まずは手を動かしたり色を見たり匂いを感じたりして五感から訴える実験授業、子どもたちの「うあ！すごい！」という驚きの声が会場内に響き渡っていました。



番外編：昼食

『気軽に美味しく、気楽に食育』

今回、自然素材や調理方法にこだわった安全で健康な食をご提供されている『六角いろり』さまのご協力をいただき、このイベント限定のお弁当を企画・ご用意いただきました。また白石学習院ホームページのコラムでおなじみの食育インストラクター大神先生が、子どもたちにそして保護者の皆さまに食に関するマメ知識などをお話させていただきました。なごやかな雰囲気の中、当院教師もいっしょにワイワイガヤガヤと、リラックスしながら美味しく楽しくお弁当をいただきました。



『今まで数多くの保護者の方とお話をする機会に恵まれました。そこから様々なことを学ばせていただきました。共通して言えることは、保護者の皆さまが本当に子どもさんのことを真剣に考え、試行錯誤されながら行動に移されていたという点です。しかし思い通りの結果や成果に繋がることもあれば、思うよういかないこともあり、その都度様々なご相談を受けてまいりました。』

セミナー第2部では、そういった保護者の皆さまのかかわりからいくつか具体例を交えてご説明しました。



保護者対象セミナー

『意外？伸ばす親・伸び悩ませる親』



生徒会場 『算数はオモシロイ!』



番外編 『漢字博士号！よみかきチャレンジ』

- センスだけの世界じゃない！
考え悩むことに進歩あり。

『もはや中学受験における算数の重要さは言うまでもないでしょう。他の教科と決定的に違うのが、得意不得意が見事に表れてしまう特徴を持つことです。4年生ではとにかくしっかりと計算力を付けることを主眼としていますが、来年度からは本格的な「受験算数」に入ります。算数はセンスで決まるなんていう説もありますが、そのセンス自体を今のうちに磨かせることは充分可能なのです。そして試行錯誤して正解にたどり着いたときの喜び、これこそが算数のもつ醍醐味なのです。』

今回はちょっとゲーム性のある教材を開発して、遊び感覚で取り組めるパズル学習に取り組みました。図形問題には欠かせない「空間把握能力」や、やり直しを重ねながら正解にたどり着くプロセスで得られる「問題解決能力」をテーマにした新型教材です。子どもたちは、「う～ん？」と頭を抱えながらも真剣にチャレンジしていました。「わかった！ そうか！」と気付いた時はとてもうれしそうな表情でした。